

MGC

2020年度
決算説明会

 三菱ガス化学株式会社

2021年5月13日

証券コード
4182

50th
ANNIVERSARY



1 | 2020年度決算概要

2 | 2021年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

1 | 2020年度決算概要

2 | 2021年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

上期に新型コロナウイルスの影響を受けるも、半導体向け製品、光学樹脂ポリマー等が好調で増益

- 売上高： 汎用芳香族化学品、発泡プラスチックの販売数量減少等で減収
- 営業利益：（＋）半導体向け製品、光学樹脂ポリマー等の販売数量増加
（＋）原燃料安
（＋）その他セグメントで第4四半期に約30億円の利益を計上*1
*1 電力高騰によるエネルギー関連事業での収益増
（－）コロナ影響(上期▲50億円)、修繕費等の固定費増加
- 持分法利益：サウジアラビア合併事業にかかる一過性費用(78億円)の剥落等により増益
- 前回予想比：エネルギー関連、エンジニアリングプラスチック等で上振れ
- 配当： 年間70円(中間35円、期末35円*2) (対前年および前回予想と同額)
*2 2021年5月26日の取締役会で正式に決定予定

2020年度 業績サマリー



— 半導体向け製品、光学樹脂ポリマーの販売数量増加等によりコロナ禍でも増益

単位: 億円	2020年度 実績	2019年度 実績	増 減		2020年度 前回予想*
			金額	%	
売上高	5,957	6,133	▲176	▲2.9%	5,900
営業利益	445	342	102	29.9%	360
(持分法利益)	(51)	(▲12)	(64)	-	(54)
経常利益	502	311	191	61.5%	400
税金等調整前当期純利益	489	343	146	42.5%	380
親会社株主に帰属する当期純利益	360	211	149	70.5%	300
一株当たり当期純利益(円/株)	173.41	100.50			
ROE (%)	7.1	4.3			
ROIC※ (%)	7.7	4.9			
為替レート(JPY/USD)	106	109			

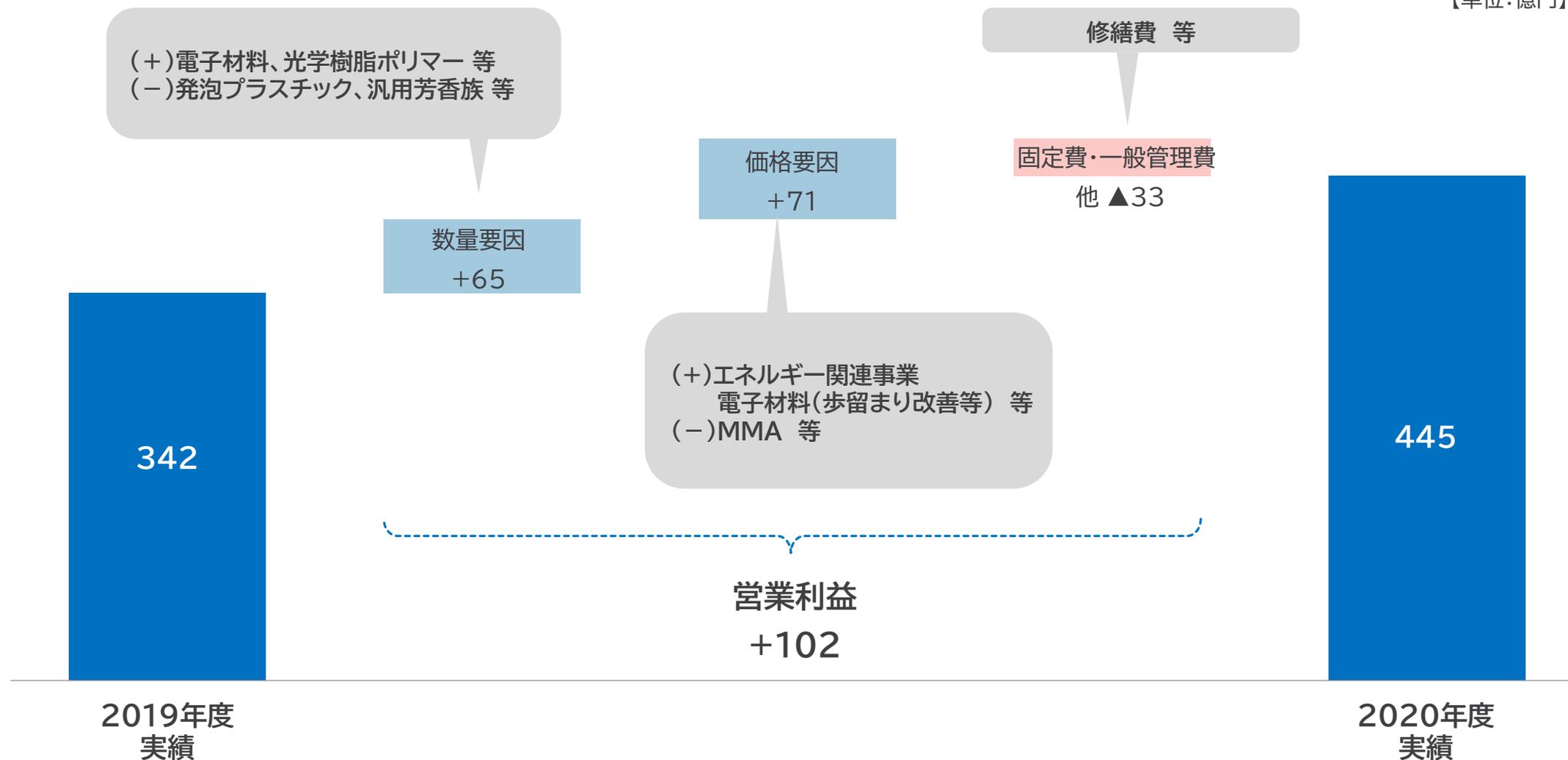
*2021年2月4日公表

(注) 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

※ROIC=経常利益/投下資本

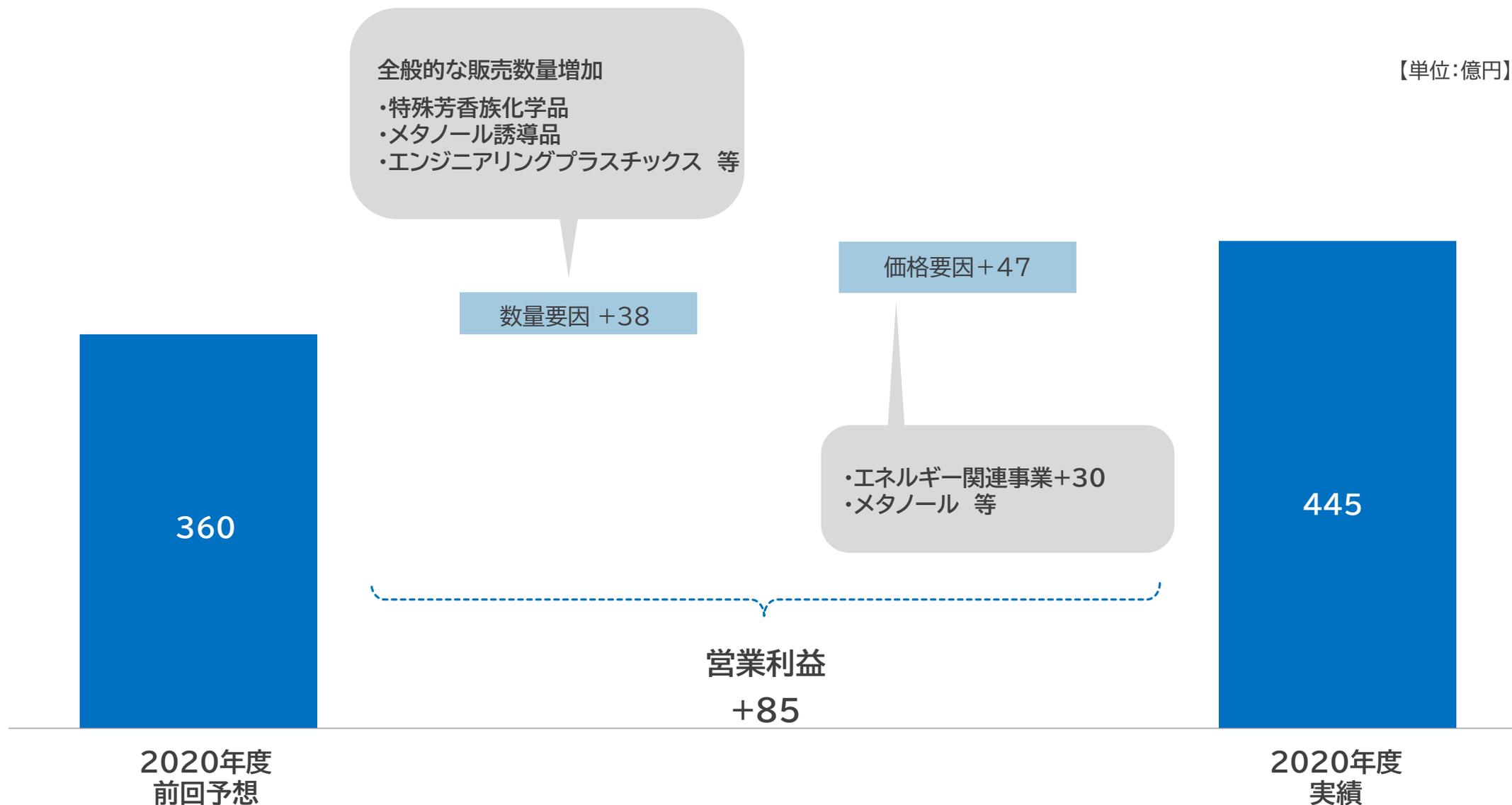
2020年度 営業利益 増減要因(前年比)

【単位:億円】



2020年度 営業利益 増減要因(前回予想比)

【単位:億円】



2020年度 営業外損益・特別損益

単位:億円	2020年度	2019年度	増減
営業外損益	57	▲ 31	88
持分法による投資損益	51	▲ 12	64
金融収支	19	18	1
為替差損益	8	▲ 13	22
その他	▲ 22	▲ 23	0
特別利益	23	134	▲ 110
投資有価証券売却益	18	26	▲ 8
固定資産売却益	2	8	▲ 6
補助金収入	1	67	▲ 66
債務保証損失引当金戻入益	-	10	▲ 10
段階取得に係る差益	-	10	▲ 10
その他	1	10	▲ 9
特別損失	▲ 36	▲ 102	65
減損損失	▲ 16	▲ 3	▲ 13
固定資産圧縮損	-	▲ 56	56
関係会社整理損失引当金繰入額	-	▲ 10	10
その他	▲ 19	▲ 30	11
特別損益合計	▲ 12	32	▲ 45

- 持分法損益
 - 基礎化学品 +68
 - 機能化学品 ▲5 等

(注)本表の増減は対損益増減を示しております。

2020年度末 貸借対照表



単位:億円	2021年3月末	2020年3月末	増 減
流動資産	4,021	3,586	434
現預金	1,017	782	235
売掛債権	1,590	1,412	177
棚卸資産	1,212	1,147	64
その他	200	243	▲ 43
固定資産	4,342	4,130	211
有形固定資産	2,499	2,398	100
無形固定資産	104	105	▲ 0
投資その他の資産	1,737	1,626	111
資産合計	8,363	7,717	646

単位:億円	2021年3月末	2020年3月末	増 減
負債	2,549	2,235	313
買掛債務	753	707	45
有利子負債	984	747	237
その他	811	781	30
純資産	5,814	5,481	332
株主資本	5,144	4,943	201
その他包括利益累計額	97	▲ 17	115
非支配株主持分	571	556	15
負債・純資産合計	8,363	7,717	646
自己資本比率	62.7%	63.8%	

2020年度 キャッシュフロー計算書



単位:億円	2020年度	2019年度	増 減
営業キャッシュフロー	554	742	▲ 187
投資キャッシュフロー	▲ 403	▲ 339	▲ 64
フリーキャッシュフロー(差引)	150	403	▲ 252
財務キャッシュフロー	51	▲ 495	547
現金及び現金同等物に係る換算差額等	6	▲ 13	20
現金及び現金同等物の増減額(合計)	209	▲ 105	315
現金及び現金同等物の期首残高	700	803	▲103
連結子会社増加に伴う現金増加高	0	2	▲ 1
現金及び現金同等物の期末残高	910	700	210

1 | 2020年度決算概要

2 | 2021年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

原燃料高の影響等があるものの、コロナ影響を受けた製品の需要回復等により、増収増益を予想

- 売上高： (＋)世界経済の回復・成長、旺盛な半導体需要の継続等による販売数量の増加
(＋)市況の上昇
(－)会計基準の変更(収益認識に関する会計基準の適用、概算▲380億円)
- 営業利益： (＋)販売数量の増加
(＋)親会社における修繕費の減少(前年度は水島工場、新潟工場が大定修)+25億円
(－)積極的な成長投資に伴う減価償却費、研究開発費の増加 ▲50億円
(－)原燃料高▲30億円
(－)前年度4Qのエネルギー関連収益の剥落▲30億円
- 持分法損益：メタノール市況の上昇等により増益を予想
- 配当： 前年と同額の70円を予想

2021年度 業績予想

— コロナ影響を受けた製品の回復等により増収増益を予想

単位:億円	2021年度 予想	2020年度 実績	増 減	
			金額	%
売上高	6,400	5,957	—※	—※
営業利益	480	445	34	7.8%
(持分法利益)	(94)	(51)	(43)	-
経常利益	560	502	57	11.5%
税金等調整前当期純利益	550	489	60	12.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	410	360	49	13.7%

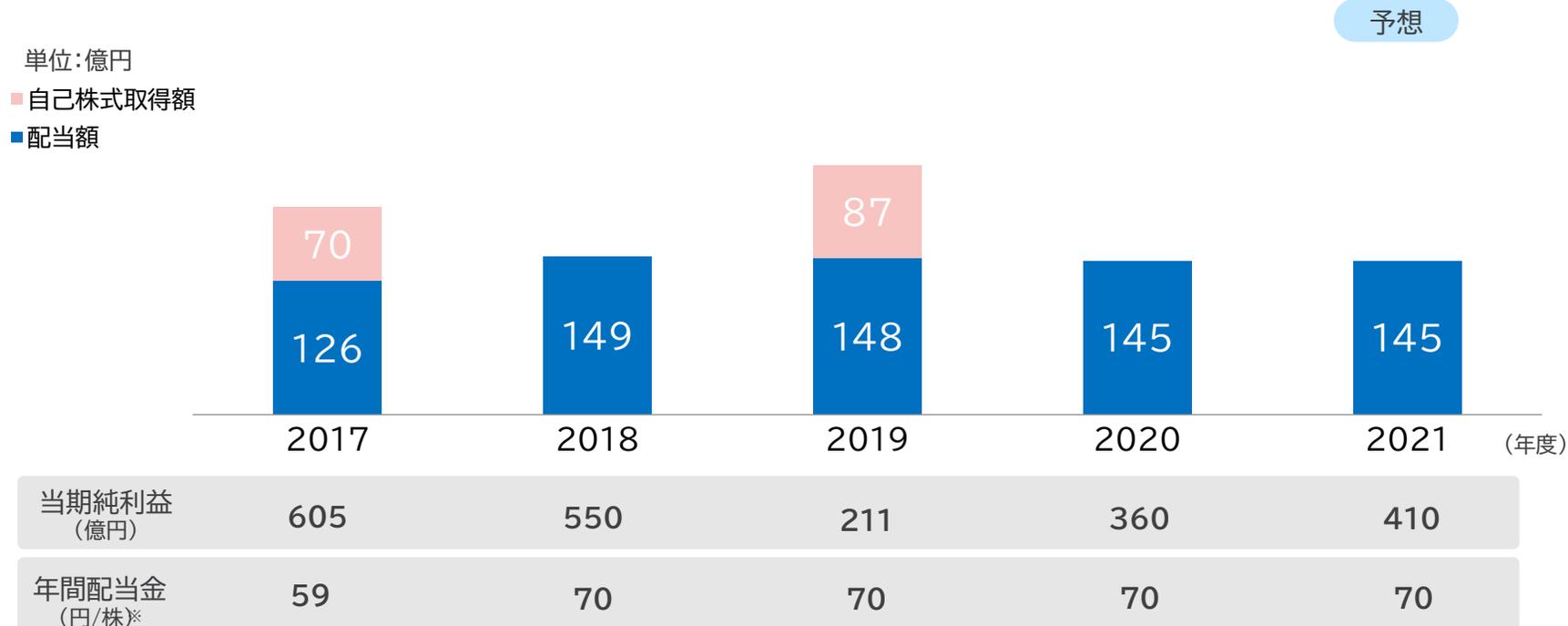
※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、2021年度の業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっており、対前期増減は記載していません。

一株当たり当期純利益(円/株)	197.10	173.41		
ROE (%)	7.7	7.1		
ROIC (%)	8.1	7.7		
為替レート(JPY/USD)	105	106		

株主還元方針・株主還元

- 企業価値の向上を経営上の最優先課題と位置付け
- 配当は、安定配当の継続を基本に業績動向等を考慮して決定
- 内部留保の水準と株主還元的水準を勘案して、自己株式の取得も機動的に実施し、資本効率の向上と株主還元の充実を図る
- 新中計から株主還元方針をより明確化、総還元性向40%を中期的な株主還元の見込とする

上記方針に基づき、2021年度の配当は70円を予想



1 | 2020年度決算概要

2 | 2021年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移



単位:億円	2019年度実績			2020年度実績			2021年度予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,033	3,099	6,133	2,666	3,290	5,957	3,100	3,300	6,400
基礎化学品	1,814	1,823	3,638	1,412	1,815	3,228	1,812	1,961	3,774
機能化学品	1,250	1,308	2,559	1,240	1,437	2,678	1,313	1,363	2,676
全社/調整	▲ 31	▲ 32	▲ 64	13	37	50	▲25	▲25	▲51
営業利益	160	182	342	143	301	445	220	260	480
基礎化学品	71	40	112	4	91	96	87	92	179
機能化学品	100	154	255	153	194	348	155	187	342
全社/調整	▲ 12	▲ 13	▲ 25	▲14	15	0	▲22	▲19	▲42
経常利益	116	194	311	165	336	502	260	300	560
基礎化学品	9	38	47	15	94	110	113	124	238
機能化学品	117	164	281	159	216	375	165	195	360
全社/調整	▲ 10	▲ 7	▲ 18	▲9	26	16	▲19	▲19	▲38

2020年度実績

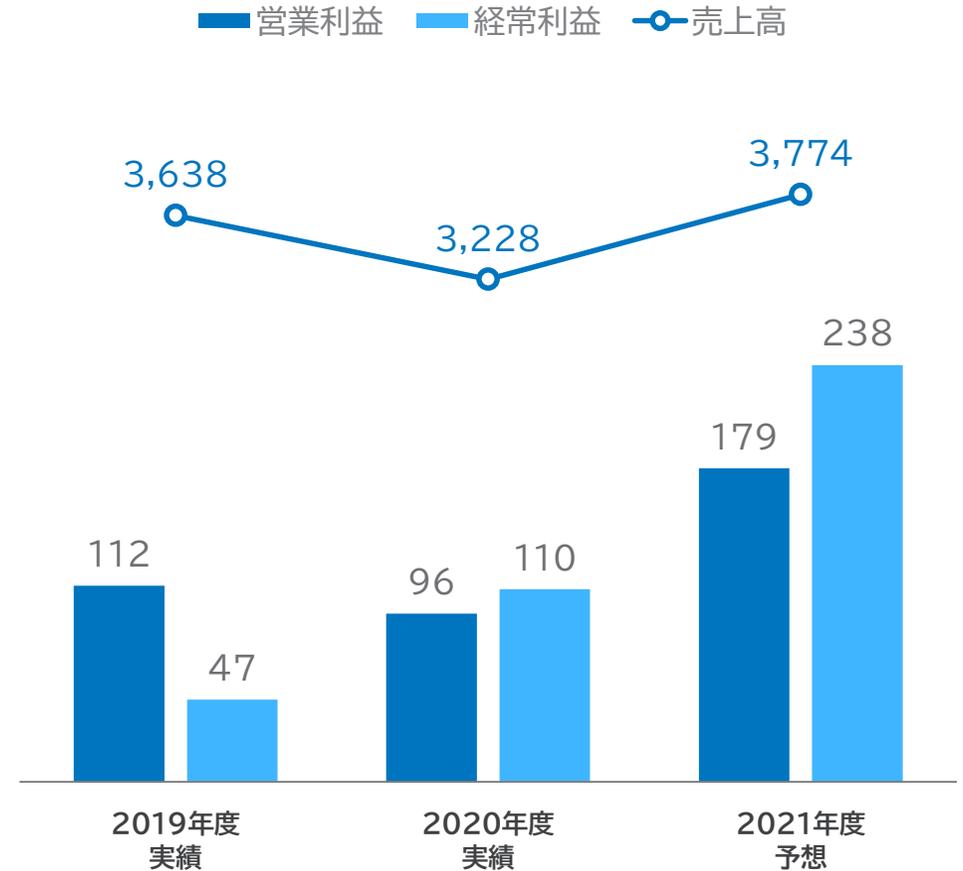
コロナ影響による需要減少、修繕費の増加等で減収、営業減益。経常利益は持分法損益の改善で増益。

2021年度予想

コロナ影響を受けた製品の需要回復、修繕費の減少、メタノール市況の上昇等を見込み、増収増益を予想。

*収益認識に関する会計基準の適用による減収影響:概算▲120億円

単位:億円



2020年度実績

- **メタノール**:市況は上期低調も、下期に上昇し、通期では前年並み。(19年度261ドル→20年度256ドル)。持分法損益は、前期に計上したサウジアラビア合弁事業での一過性費用(78億円)剥落、同事業での税金還付(約18億円※1)等により改善。
※1 株式売却にかかる税金還付、及び出資比率変更に伴う税金費用見直しによるもの。
- **メタノール・アンモニア系化学品**:原料市況の高騰、修繕費用の増加などにより減益。
- **特殊芳香族化学品**:芳香族アルデヒドの販売数量が増加。上期にコロナ影響で需要が減少したメタキシレンジアミン(MXDA)の販売数量が下期に大きく回復し、前期並みの損益。
- **汎用芳香族化学品**:メタキシレン(MX)および高純度イソフタル酸(PIA)の販売数量減少・販売価格下落により、減収減益。
- **発泡プラスチック(JSP)**:食品・土木分野での需要が増加。自動車分野の需要も下期に回復。

2021年度予想

- **メタノール**:前年度の税金還付剥落、ブルネイ定修等のマイナス要因があるものの、市況上昇(20年度:256ドル→21年度:320ドル)等により持分法利益は増益を予想。
- **メタノール・アンモニア系化学品**:修繕費の減少や、MMA系製品等の数量増加・採算改善などにより増益を見込む。
- **ハイパフォーマンスプロダクト※2**:MXDAは需要堅調で販売数量の増加を見込む。芳香族アルデヒドの販売数量は顧客の在庫調整等で前期を下回る見通しだが、供給制限を行っている品種もあり、生産量見合いで増量も検討。 ※2 MXDA、MXナイロン、芳香族アルデヒド等 旧特殊芳香族化学品の製品群
- **キシレン分離/誘導品※3**:コロナ禍からの数量回復や固定費削減により損益改善を見込む。 ※3 MX、PIA等 旧汎用芳香族化学品の製品群
- **JSP**:自動車分野での販売数量回復等を見込むも、原燃料高などもあり、前期並みの損益を予想。

2020年度実績

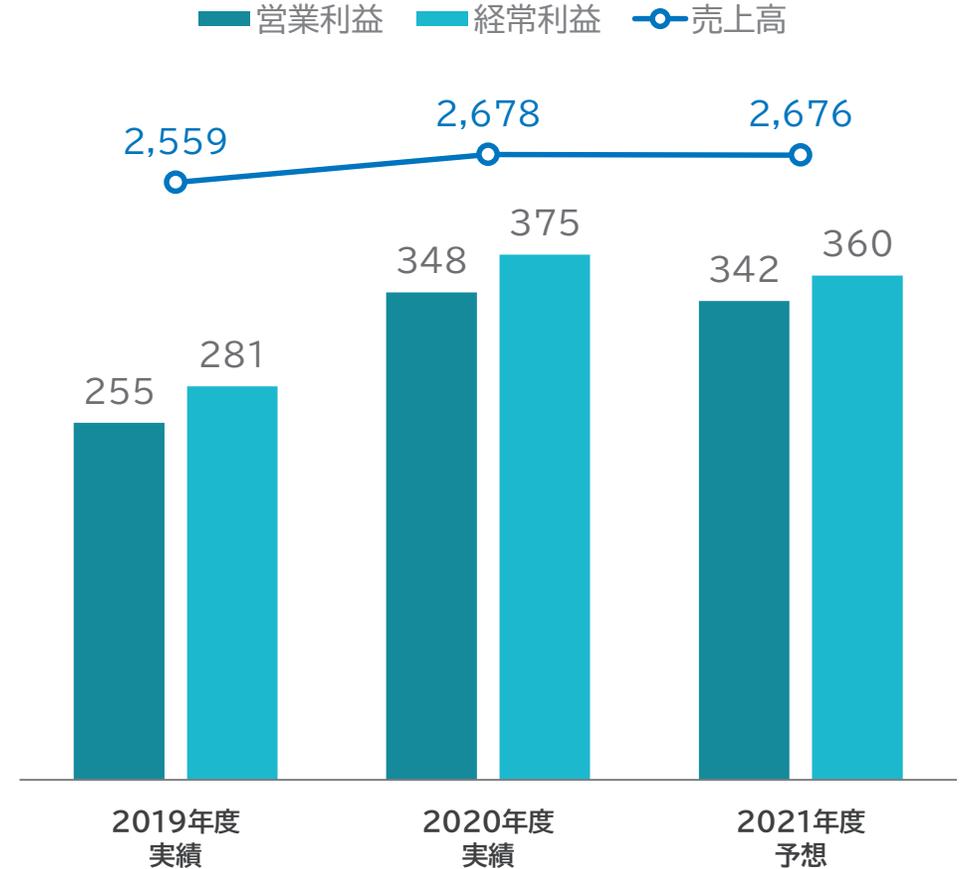
半導体向け製品や光学樹脂ポリマーの販売数量増加等により増収増益。

2021年度予想

コロナ影響を受けた製品の需要回復や、半導体向け製品の販売数量増加等を見込むも、固定費や一般管理費の増加に加え、一部原燃料価格上昇による採算悪化等もあり、前期をやや下回る損益を予想。

*収益認識に関する会計基準の適用による減収影響:概算▲260億円

単位:億円



2020年度実績

- 無機化学品:半導体向け薬液の販売数量増加などにより、前期を上回る損益。
- エンジニアリングプラスチック:コロナ影響で上期に自動車向け等の需要が減退したものの、下期に需要が回復し、前期並みの損益。
- 光学材料:半導体不足の顕在化に伴う顧客の在庫調整の影響により第4四半期の販売数量に減速感が生じたものの、スマホ複眼化の進展や2019年10月の生産能力増強も販売数量増加に寄与し、増収増益。
- 電子材料:データセンターなどのICT関連需要の高まりや、5G対応スマホ向けアンテナ・イン・パッケージ(AiP)基板向けの立ち上がりなどにより、増収増益。
- 脱酸素剤:コロナ影響で土産などの観光需要が減少したものの、輸出が堅調で前期を上回る損益。

2021年度予想

- 無機化学品:半導体向け薬液の販売数量増加で増収を見込むも、固定費の増加などもあり、前期並みの損益を予想。
- エンジニアリングプラスチック:コロナからの需要回復を見込むものの、PC-BPAスプレッドは低水準が続く見通し。原燃料費の上昇や固定費の増加などにより、減益を予想。
- 光学材料:スマホ複眼化・高機能化の進展を見込むも、上期前半は半導体不足等の影響が残り、調整局面が続く見通し。下期は数量が回復、通期では前期並みの販売数量を見込む。
- 電子材料:AiPやメモリ向けの需要増加等で増収を見込むも、固定費や一般管理費の増加等により前期並みの損益を予想。

Appendix

参考：各種指標（1）

単位:億円	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021(予)
設備投資額 [上期]	309 [177]	254 [138]	222 [103]	305 [149]	350 [137]	309 [139]	392 [186]	423 [224]	402 [158]	700 [370]
減価償却費 [上期]	230 [107]	235 [114]	237 [115]	267 [131]	256 [122]	270 [131]	274 [135]	295 [144]	306 [151]	330 [160]
研究開発費 [上期]	151 [72]	161 [80]	168 [80]	189 [92]	192 [96]	189 [95]	186 [91]	196 [94]	199 [98]	225 [115]
年度末人員(人)	5,323	5,445	8,254	8,176	8,034	8,009	8,276	8,954	8,998	10,033
一株当たり当期純利益 (円/株)*	▲35	66	192	154	222	281	257	101	173	197
総資産経常利益率 (%)	4.6	4.8	5.8	5.9	8.4	10.6	8.7	3.9	6.2	6.6
自己資本当期利益率 (%)	▲2.8	5.0	12.6	9.0	12.0	13.6	11.3	4.3	7.1	7.7
投下資本利益率 (%)	5.8	6.1	7.2	7.3	10.4	13.2	10.9	4.9	7.7	8.1
配当金(円/株)* [うち2Q末]	24.0 [12.0]	24.0 [12.0]	28.0 [14.0]	32.0 [16.0]	38.0 [16.0]	59.0 [24.0]	70.0 [35.0]	70.0 [35.0]	70.0 [35.0]	70.0 [35.0]

*当社は2016年10月1日に株式併合(2株→1株)を実施しております。一株当たり当期純利益および配当金については、株式併合前においても当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

参考：各種指標（2）セグメント別 設備投資額・減価償却費(連結)

単位:億円	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019		2020	2021(予)	
設備投資額	天然ガス系化学品	63	45	57	53	90	60	57	72	基礎化学品	194	240
	芳香族化学品	57	23	40	106	105	113	146	150			
	機能化学品	150	112	76	99	81	110	144	146	機能化学品	186	420
	特殊機能材	33	66	43	38	66	19	23	26			
	その他	3	5	3	7	5	6	21	27	その他	21	40
	合計	309	254	222	305	350	309	392	423	合計	402	700
減価償却費	天然ガス系化学品	62	63	69	61	50	51	55	63	基礎化学品	163	170
	芳香族化学品	58	41	39	82	85	85	87	95			
	機能化学品	77	95	92	88	86	91	87	87	機能化学品	130	140
	特殊機能材	27	31	33	30	30	35	36	38			
	その他	3	3	3	3	3	5	8	10	その他	12	20
	合計	230	235	237	267	256	270	274	295	合計	306	330

※固定資産計上ベース

参考：各種指標（3）

単位:億円	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	予想
為替(JPY/USD)	111	111	110	112	109	109	107	105	105
為替(JPY/EUR)	126	133	130	127	121	120	121	126	130
原油価格(Dubai) (US\$/BBL)	50	62	73	65	64	56	37	52	65
メタノール (US\$/MT) アジアスポット平均価格	296	381	408	335	277	245	194	319	320
原料キシレン(US\$/MT)	650	725	845	730	705	640	420	560	690
ビスフェノールA (US\$/MT)*	1,100 ~1,300	1,200 ~1,700	1,600 ~1,900	1,200 ~1,800	1,000 ~1,450	1,050 ~1,350	900 ~1,450	1,400 ~3,300	1,200 ~3,800
ポリカーボネート (US\$/MT)*	2,500 ~2,900	2,900 ~3,900	2,700 ~3,800	2,100 ~2,800	1,900 ~2,250	1,650 ~2,000	1,500 ~2,150	2,100 ~4,000	1,900 ~4,300

*期間中の最小値および最大値を記載

感応度(概算)

為替(USD) :1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益5億円/年の減益(増益)

為替(EUR) :1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)

原油(Dubai) :1\$/BBLの上昇(下落)で、1.5億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず

メタノール :メタノール市況1\$/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

【参考】:旧セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

単位:億円	2019年度実績			2020年度実績			2021年度予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,033	3,099	6,133	2,666	3,290	5,957	3,100	3,300	6,400
天然ガス系化学品	791	846	1,637	645	889	1,535	904	989	1,893
芳香族化学品	1,031	979	2,011	802	931	1,734	923	989	1,912
機能化学品	994	1,025	2,020	966	1,113	2,080	1,027	1,058	2,086
特殊機能材	262	286	548	290	326	617	285	305	591
全社/調整	▲46	▲38	▲84	▲39	29	▲10	▲41	▲42	▲84
営業利益	160	183	342	143	301	445	220	260	480
天然ガス系化学品	▲5	7	1	▲26	20	▲6	16	27	43
芳香族化学品	77	34	111	31	70	102	70	64	135
機能化学品	80	118	199	103	123	227	93	127	221
特殊機能材	20	36	56	50	70	120	61	59	121
全社/調整	▲12	▲13	▲25	▲14	16	1	▲22	▲19	▲41
経常利益	116	197	311	165	336	502	260	300	560
天然ガス系化学品	▲64	7	▲57	▲15	25	9	42	61	104
芳香族化学品	73	31	104	30	69	100	71	62	133
機能化学品	94	129	223	106	143	249	100	135	236
特殊機能材	23	35	58	52	73	125	64	59	124
全社/調整	▲10	▲7	▲18	▲9	26	16	▲18	▲19	▲38

注)新セグメントとの比較のために簡便的に組み替えた参考値となります。

見直しに関する注意事項

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
CSR・IR部 IRグループ

TEL 03-3283-5041

URL <https://www.mgc.co.jp/>



IRメール配信サービス

適時開示やIRに関する最新情報について、メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。

50th
ANNIVERSARY

